



競技ボランテ ィア 勉強会



大学院2年

手島 慶祐

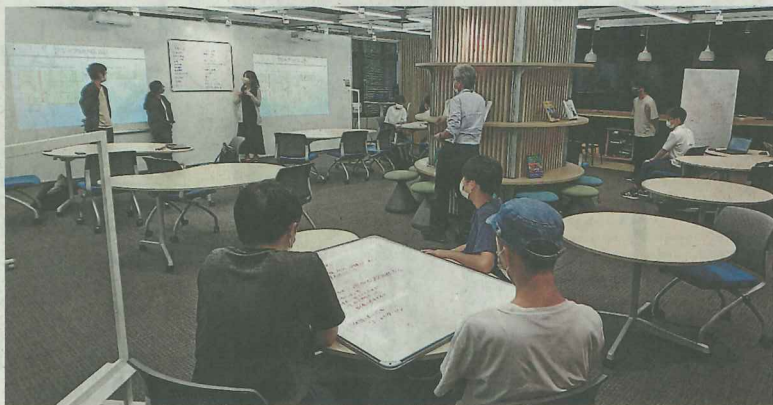
11月4～6日に広島県内で開かれる知的障害者のスポーツ全国大会「スペシャルオリンピックス」夏季大会で広島工業大(広島市佐伯区)の学生45人がボランテ ィアを務める。学内で2日間にわたり勉強会があった。

学生ボランテ ィアは会場設営や選手団の補助などの業務を担う。勉強会では、グループに分かれ、ボランテ ィア活動で心掛けたいことや体験したいことにつ

障害者大会で選手団の補助

いてディスカッション。過去にあった大会のボランテ ィアの活動などを調べて感じたことや気付きを共有した。みんなで意見を出し合い、コロナ対策を徹底しながら選手が全力で競技に臨める工夫をすることを確認した。

広島工業大は有志が「100日前カウントダウンボード」を制作し、大会の盛り上げを図っている。情報工学科4年の坂本花凜さん(21)は「大会当日は、選手が普段と変わらない状態で競技ができるようサポートしたい」と意気込みを語っていた。



「スペシャルオリンピックス」の勉強会で意見を出し合う参加者